

環境物質科学専攻修士論文発表会

日時 : 2026 年 2 月 10 日 (火) 9:15~17:05、12 日 (木) 9:30~14:40

場所 : D201 教室

形式 : 口頭発表 13 分、質疑応答 6 分、交代 1 分

2 月 10 日 (火)

座長 : 廣川 淳

9:15 ~ 9:35

入場 啓介 ゼオライト触媒によるハイドロカルダノールからのバイオフェノール合成

9:35 ~ 9:55

小島 翼 Mitchellene F の合成研究

9:55 ~ 10:15

長岡 佑哉 タンパク質 N 末端修飾剤 1*H*-1,2,3-トリアゾール-4-カルボアルデヒドを表面修飾した次世代アルギン酸マイクロキャリアの開発

10:15 ~ 10:35

大郷 和暉 構造指向剤によって形状制御された Au クラスタナノ結晶の発光特性

10:35 ~ 10:45 休 憩

座長 : 菅沼 学史

10:45 ~ 11:05

荒木 喜朝 核燃料再処理工程で発生する廃水の浄化を目指した水中アジ化物イオンの定量と分解

11:05 ~ 11:25

柴田 紘 銅・鉄・窒素ドーブメソポーラスカーボン電極触媒の合成と酸素還元活性

11:25 ~ 11:45

尾谷 晃輔 1*H*-1,2,3-トリアゾール-4-カルボアルデヒドと Ni²⁺イオンによるタンパク質 N 末端特異的な二重修飾を活用した蛍光標識法の開発

11:45 ~ 12:05

門間 天 担持イリジウム触媒上での亜酸化窒素水素化分解の反応機構解明

12:05 ~ 13:05 昼休み

座長：武安 光太郎

13:05 ~ 13:25

関 翔 キラル認識効果を用いた光合成酵素修飾電極による水の光酸化とその活性向上

13:25 ~ 13:45

大井 涼平 ハイドロガーネット前駆体から合成した鉄系ペロブスカイト型酸化物の N_2O 分解特性

13:45 ~ 14:05

杜 博昊 Development of PtIr Nanowire Electrocatalysts for the Oxygen Evolution Reaction through Morphology and Composition Control
(モルフォロジーと組成の制御による酸素発生反応に向けた PtIr ナノワイヤ電極触媒の開発)

14:05 ~ 14:25

田中 風花 Hf-Beta ゼオライトのポスト合成における添加フッ素の効果

14:25 ~ 14:35 休 憩

座長：大友 亮一

14: 35 ~ 14:55

AL-HAJRI Shamayil Salim Amur

Retro-aldol cleavage of glucose coupled with acetalization or hydrogenation for the production of C2 and C4 platform molecules (グルコースのレトロ・アルドール開裂にアセタール化または水素化を組み合わせた C2・C4 プラットフォーム分子の合成)

14:55 ~ 15:15

三好 隆斗 メソポーラスカーボン担持多元合金ナノ粒子触媒による亜酸化窒素還元

15:15 ~ 15:35

福原 天音 Keplerate 型巨大ポリオキシメタレート外表面と有機化合物の相互作用

15:35 ~ 15:55

吉村 和也 バイオマス由来フラン化合物の Diels-Alder 反応による p-キシレン合成

15:55 ~ 16:05 休 憩

座長：七分 勇勝

16:05 ~ 16:25

山下 響生 N 末端を介してポリマー担体へ固定したキトサナーゼの活性評価

16:25 ~ 16:45

傅 昊杰 シリカ担持硫酸鉄触媒によるメタクロレイン選択酸化反応

16:45 ~ 17:05

山本 遼 PtPdRh 多元電極触媒の亜酸化窒素還元活性に対する担体効果

2 月 12 日 (木)

座長 : 大須賀 遼太

9:30 ~ 9:50

難波 希 アミン非共存下でのメタクロレイン合成を促進する不均一系触媒の探索

9:50 ~ 10:10

林 士琦 キラルジホスフィン配位金クラスターの反応探索と光学特性評価

10:10 ~ 10:30

仲谷 健臣 222 nm 殺菌灯による二次有機エアロゾル生成 : 共存有機化合物とランプ強度の影響

10:30 ~ 10:50

寺崎 明咲 酵素重合によるリシノール酸ポリエステルの合成と疎水コーティングへの応用

10:50 ~ 11:00 休 憩

座長 : 加藤 優

11:00 ~ 11:20

原田 由葵乃 Au₈ クラスターの熱誘起ナノ結晶化と発光特性への影響

11:20 ~ 11:40

蓮見 正仁 固体触媒を用いたフランジカルボン酸ジメチルとエチレングリコールのエステル交換反応によるバイオプラスチックモノマー合成

11:40 ~ 12:00

川崎 玲華 組成の異なる BPO₄触媒を用いたプロパンジオールの脱水反応

12:00 ~ 13:00 昼休み

座長 : 高野 勇太

13:00 ~ 13:20

WU Yukun 含水媒体中での合金型クラスターの発光特性調査

13:20 ~ 13:40

瀧口 颯太 温和な条件下におけるアルキルチオール自在合成

13:40～14:00

佐々 涼水 固体触媒によるアミノ基含有フラン化合物の水素化および水素化分解反応

14:00～14:20

湯谷 悠希 含フッ素アニオンを有する柔軟性配位高分子の合成及び吸着・相転移特性評価

14:20～14:40

鹿島 愛颯 1,12-ジアザトリフェニレン誘導体を配位子に有するレニウムトリカルボニル錯体の合成